

学校、幼稚園、保育所で予防すべき感染症の解説: 抜粋表

感染症名	潜伏期間	主な感染経路	登校(園)基準
ポリオ	3-21日	経口感染	急性期の症状が治癒後
ジフテリア	2-7日	飛沫感染	治癒後
重症急性呼吸器症候群	2-10日	飛沫感染	治癒後
鳥インフルエンザ	1-10日	飛沫感染	治癒後
インフルエンザ	1-4日	飛沫感染	発熱した後5日、かつ解熱した後2日を経過するまで。幼児においては、発症した後5日、かつ解熱した後3日を経過するまで
百日咳	5-21日	飛沫感染	特有な咳が消失するまで、または5日間の適正な抗菌薬による治療が終了するまで
麻疹	7-18日	空気感染	解熱後3日経過した後
流行性耳下腺炎	12-25日	飛沫感染	耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫張が発現した後5日を経過し、かつ全身状態が良好となるまで
風疹	14-23日	飛沫、母児感染	発疹の消失後
水痘	10-21日	空気感染	すべての発疹が痂皮化した後
咽頭結膜熱	2-14日	飛沫感染	主要症状が消失して2日経過後
結核	2年以内	空気感染	感染のおそれがないと認められた後
髄膜炎菌性髄膜炎	1-10日	飛沫感染	感染のおそれがないと認められた後
コレラ	数時間-5日	経口感染	治癒後
細菌性赤痢	1-7日	経口感染	治癒後
腸管出血性大腸菌	10時間-8日	経口感染	感染のおそれがないと認められた後
腸チフス、パラチフス	3-60日	経口感染	治癒後
流行性角結膜炎	2-14日	飛沫感染	感染のおそれがないと認められた後
急性出血性結膜炎	1-3日	経口感染	感染のおそれがないと認められた後
溶連菌感染症	2-10日	飛沫感染	適切な抗菌薬による治療開始後24時間以降
A型肝炎	15-50日	経口感染	肝機能が正常化した後
B型肝炎	45-160日	血液、体液を介した感染、母児感染	急性肝炎の極期でない限り
手足口病	3-6日	経口感染	全身状態が安定していれば
ヘルパンギーナ	3-6日	経口感染	全身状態が安定していれば
伝染性紅斑	4-21日	飛沫感染	全身状態が安定していれば
ロタウイルス感染症	1-3日	経口感染	下痢、嘔吐が消失した後
ノロウイルス感染症	12-48時間	経口感染	下痢、嘔吐が消失した後
サルモネラ感染症	6-72時間	経口感染	下痢、嘔吐が消失した後
カンピロバクター感染症	1-7日	経口感染	下痢、嘔吐が消失した後
マイコプラズマ感染症	1-4週	飛沫感染	症状が安定した後
インフルエンザ菌b型感染症	不明	飛沫感染	症状が安定した後
肺炎球菌感染症	1-3日	飛沫感染	症状が安定した後
RSウイルス感染症	2-8日	接触感染	症状が安定した後
EBウイルス感染症	30-50日	唾液を介した感染	症状が安定した後
サイトメガロウイルス感染症	不明	唾液を介した感染、母児感染	症状が安定した後
単純ヘルペス感染症	2日-2週	接触感染	歯肉口内炎のみであればマスクをして可
日本脳炎	2-15日	ブタ、カを介した感染	症状が安定した後
アタマジラミ	孵化まで10-14日	接触感染	制限はない
伝染性軟属腫	2週-6月	接触感染	制限はない
伝染性膿痂疹	2-10日	接触感染	制限はない
ヒトパピローマウイルス	3か月-数年	接触感染、性感染	制限はない